黒部市立荻生小学校
学校だより　８号
令和８年１０月２９日

荻の里

目指す子供の姿　やさしく　かしこく　たくましく
地域を学び、愛する子供

《特 集 号》

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について

本年度４月、６年生児童を対象に「令和８年度全国学力・学習状況調査」が実施され、個人の結果については、7 月に配付されています。今年度は、教科に関する調査（国語、算数）と質問調査（児童の学習意欲、学習環境、生活環境等）が実施されました。

この調査によって測ることができるのは、児童の姿の一面ではありますが、調査結果は本校児童の学力・学習状況の傾向として捉えることができるものです。全教職員で結果をしっかりと分析し、これまでの指導の成果や課題を明らかにすることにより、全学年の授業改善につなげ、本校児童のさらなる学力向上に向けて取り組んでいきたいと思います。

６年児童が取り組んだ調査問題・解説等の詳細については、国立教育政策研究所のＨＰ（https://www.nier.go.jp）で公開されています。ぜひ、ご覧ください。

学力の土台は「安定した心と元気な体」

子供たちが意欲的に学習に取り組むためには、安定した心と元気な体が必要です。心が不安定になると、物事に集中できなかったり、すぐにくじけてしまったりしがちです。また、体が元気でないと、がんばる気持ちや挑戦しようとする気力もわいてきません。子供は、周囲からの温かい励ましや見守りによって自尊感情（自己肯定感）を高め、安定した心を育てていきます。早寝・早起き・朝ご飯等の規則正しい生活習慣は、元気な体をつくります。まずは、学習に取り組む土台となる子供たちの生活や心の状態を見つめ直したいと思います。

荻生小学校では、子供たちが生き生きと成就感を味わいながら学校生活を送ることができるよう、「笑顔いっぱい学びいっぱいの学校づくり」や「分かる・できる・楽しい授業づくり」に努めています。ご家庭でも、保護者向けリーフレット「荻っ子のやくそく」や「家庭学習の充実に向けて」等を参考に、望ましい生活習慣の形成や家庭学習の習慣化、そして何よりも、子供たちの「安定した心と元気な体」を育てることにご協力をお願いします。

荻っ子のすがた（学力調査の結果から）

◎定着度が優れていた学習内容　▲定着度に課題の残った学習内容

【国語】

◎話の中心が明確になるよう話の構成を考えること

◎資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

◎考えとそれを支える理由や事例等、情報と情報との関係について理解すること

◎情報と情報との関係付けの仕方、図等による語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと

▲目的に応じて、文章と図表等を結び付けるなどして必要な情報を見付けること

▲文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること

国語の確かな学力の育成に向けて

・漢字を文の中で正しく使うことに課題が見られ、書けないと思うと空欄のまま諦めてしまう傾向があります。「音が同じ既習漢字や意味の近い漢字、前後の文脈から推測する」などの指導をしていきます。また、授業のノート、作文指導、連絡帳等あらゆる書く場面で、適切に漢字が使えるよう指導していきます。ご家庭では、自学ノートで漢字練習をすることがおすすめです。「あつい」という漢字を学習する際は、「暑い日にプールへ行く」のように例文づくりをしたり、「あつい日に、あついお茶を飲みながら、あつい本を読む」のように問題づくりをしたり、国語辞典で意味を調べて書き写したりといった学習がおすすめです。

・目的に応じて、必要な情報を見付けることに課題が見られました。複数人のやり取り（対話）から瞬時に目的の情報を探し出す力が不足しているようです。話合いの内容から要点を整理する活動を取り入れ、目的に応じた効率的な情報収集力を養います。

・自分の考えをまとめるなど、自分の言葉で表現することに対するハードルの高さが伺えます。安心して自分の考えを表現できるように、普段から互いの考えを尊重し合ったり、否定せずに受け止めたりする関係づくりを大切にしていきます。また、短い文章で自分の経験を表現するなど、スモールステップの指導を大切にしていきます。

【算数】

◎整数と小数の減法の計算をすること

◎単位分数の個数に着目し、数直線上の１を表す目盛りを捉えること

◎帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ること

▲基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶこと

▲表から、条件に合う数を読み取ること

算数の確かな学力の育成に向けて

・基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことに課題が見られました。問題を読んだら、文章をそのまま数字の並びとして見るのではなく、長さや大きさのイメージに変換したり、手で動かせる算数ブロック等の具体物を使って目で見て確かめたりする指導をしていきます。また、デジタル端末の図形ツールを使い、「もとにする量」と「比べる量」を画面上で動かすことで、割合の意味をパッと目で見て理解する力を身に付けます。

・表から、条件に合う数を読み取ることに大きな課題が見られました。縦と横の項目が交差する表から、複数の条件に合うものを選ぶ力が不足しています。学校では、表を指で追いながら縦と横の条件を同時に満たす場所を探すために両手の指を動かし、指が『ごっつんこ』して重なった数字が答えだと、身体的な動作と結び付けて指導します。また、簡単な表からスタートし、少しずつ難易度を上げながら、自分で情報を正確に読み取る練習を積み重ねていきます。

荻っ子のすがた（児童質問調査の結果から）

◎基本的生活習慣が身に付いています

・「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と答えた子供が多くいました。集中して勉強するには、元気な心と体が大切です。また、朝のスタートに関しては、家庭の強力なバックアップが必要不可欠です。よい生活習慣を身に付け、継続してほしいと思います。

◎良好な友人関係に安心感があるようです

・「友達関係に満足している」割合が高く、良好な人間関係が築かれていることが分かりました。また、「普段の生活で幸せな気持ちになる」と答えた子供が多く、日々の幸福度が高い傾向にあります。学校や教室が子供たちにとって「毎日行きたくなる、心理的安全性で満たされた居心地の良い場所」になっているようです。友達関係への満足度の高さが、授業中のペアやグループ活動で「お互いを大切にしながら、力を合わせて課題を解決する力」にポジティブに作用しています。

◎高い自己肯定感と先生への信頼感があります

・「自分にはよいところがあると思うか」「先生は自分のよいところを認めてくれているか」という質問に、肯定的な回答をした子供の割合が高かったです。先生に対する信頼感が際立っています。一方で、「困りごとを先生や学校の大人に相談できない」と回答する子供もいました。先生に認められていると感じつつも、実際の悩みの相談には心理的ハードルがあることが伺えます。今後、SOS の出し方教育を進めていきます。

◎探究心と ICT を活用した主体的な学習姿勢があります

・「自ら学び方を工夫できている」「総合的な学習の時間での取組において自分で課題を立てて発表する活動ができている」「ICT 機器を使って情報を集め・整理することができる」と答えた子供が多くいました。自律的な学習姿勢が見られます。与えられた課題をこなすだけでなく、「自分で問いを立てて、調べ、まとめる」という一連の探究活動に対して、自信と成功体験をもっていると考えられます。「総合的な学習の時間」の学習においては、友達と協力したり、目的を持って取り組んだりすることで、ICT を使いこなせていることが分かりました。今後も継続していきます。

◎将来を見据えて学ぼうとしています

・「国語の勉強が得意です。好きです」と回答した子供はやや少なめですが、「国語の授業の内容はよく分かる」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えた子供が多くいました。あまり好きでなくても投げ出すのではなく、必要不可欠なものとして受け止めている、現実的な傾向が見られます。「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えた子供が非常に多くおり、実社会との結び付きを強く意識していることが分かりました。「生活や社会を豊かにするための実用的な道具」として結び付けて捉えている傾向があります。

健やかな心と体を育むために

１．苦しいときこそ「成長のチャンス」

自分で決めたことや課題は、少し大変でも「最後までがんばる経験」をさせましょう。結果の成否だけでなく、「あきらめずに努力したプロセス」をしっかりと認め、褒めていくことが、次への強い心を育てます。

２．「認め・励ます」言葉かけで、やる気アップ！

他との比較ではなく、努力や進歩の様子を認め、励ましましょう。

自尊感情（自分自身を価値ある存在と感じること）と、自己有用感（人の役に立っているという喜び）を高める関わりを大切にしていきましょう。

３．基本的な「生活習慣」を身に付けよう

「決まった時刻に起きる・寝る」に努め、十分な睡眠時間を確保しましょう。また、テレビ、ゲーム、動画スマホなどの利用時間は、「家族で話し合ってルールを決める」ことが、守ろうとする自律心につながります。

４．「ルールや約束」を守る心を育てる

学校のきまりや友達との約束、社会のマナーを守ることは、社会の大切な一員であるという自覚や規範意識の高まりにつながります。「なぜそのルールが必要なのか」という意味や理由を、ぜひお子さんと一緒に話し合ってみましょう。

５．「読書」に親しむ環境づくり

本を読むことは、文字に親しむだけでなく、心も豊かにします。新聞を読むことも、社会への関心を高め、視野を広げたり新しい言葉を覚えたりするのにとても有効です。リビングに本や新聞をそっと置いておくなど、自然に活字に触れられる環境をつくってみましょう。

６．「自学ノート」で家庭学習を習慣に

家庭学習の目安時間は「10 分×学年」です。低学年のうちから少しずつ机に向かう時間を延ばしていきましょう。教科書を使った予習・復習や興味や関心があることについて、自分でノートをまとめる練習を積み重ねていきましょう。

☆１１月の主な行事予定☆

２日（月）読書月間（～３０日）　学校集金日
ふれあい週間（～１２日）
生活習慣チェック（～6日）
委員会活動
音楽会合奏練習（５・６年）
４日（水）すこやかタイム
５日（木）職員研修会のため全校３限まで　下校 11:15（給食はありません）
６日（金）校外学習（１年）
９日（月）自学ノート展（～１３日）
保育所訪問（６年）
クラブ活動
卒業アルバム用写真撮影（委員会・クラブ）
１０日（火）避難訓練（火災）２限
１１日（水）市学校給食センター出前授業（１年）
１２日（木）音楽会合奏練習（５・６年）
１３日（金）学習参観　２限
英会話科等授業公開②（１年）２限
ＰＴＡ教養講座　３限
１４日（土）黒部市幼小中美術展（～16日）コラーレにて
善行賞表彰式並びに活動実践意見発表大会（６年代表児童）
１６日（月）音楽会合奏練習（５・６年）
１７日（火）市学校給食センター出前授業（６年）
１８日（水）フレンド集会（音楽会の曲リハーサル）
１９日（木）市音楽会前日リハーサル（５・６年）
居住地校交流学習（４年）
２０日（金）黒部市小学校音楽会（５・６年）午前
２６日（木）「剣の山」視聴（６年）
黒部地場産給食の日
２７日（金）学校保健委員会　２限
３０日（月）がんばり週間（～12/4）
委員会活動

※永田ＳＣ（スクール・カウンセラー）相談日は１１日(水)、１８日(水)、２５日(水)です。
丸山 SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）相談日は１０日（火)、２４日（火）です。

１２月の主な予定

４日（金）　クラブ活動（今年度最終）
１１日（金）　スマイル集会（人権集会）
１７日（木）　個別懇談会１日目
１８日（金）　個別懇談会２日目
２１日（月）　地区児童会・集団下校
２４日（木）　第２学期終業式
２５日（金）　冬休み（～1/7）

